

令和7年度 第2回学校運営協議会議事録

さいたま市立城南小学校

1 日時・場所 [日時] 令和7年11月7日(金) 10:00～11:30
[場所] 図書室

2 出席 13名(委員総数 15名)

3 次第

- (1) あいさつ
- (2) 教育活動の振り返り
- (3) 熟議
- (4) 城南小児童会からの発表
- (5) 生徒指導に関する報告
- (6) 事務連絡
- (7) 校内・授業参観

4 議事概要

(1) 教育活動の振り返り(教頭より)

(2) 熟議について

議題:「心の教育 ～子どもたちの『心』を育てる～」

- ・教育効果は表れているか。
- ・学校は地域の願いに応えているか。

・Aグループ:

心がかよう雰囲気が大切であり、地域に何ができるか考えたい。そのため教育活動における成果や課題など情報がほしい。地域の人に教えてほしい。さいたま市は学力において全国1位であると聞いている。学校からの情報発信が必要である。どんなことに助けがほしいか、どんな支援ができるか考えていきたい。

・Bグループ

城南小の子どもたちは保育園の園児に笑顔で接し、いつも優しい言葉をかけてくれている。学校や地域に心を育てる土壌ができている。チャレンジスクールの子どものあいつからも心の教育の成果が表れている。1学年が2～3クラスの学校規模は教育活動において指導に適している。

・C グループ

PTA 組織を変える学校が増えている。城南小の現状としては、ネガティブなイメージをなくしたい、変えていきたいと考えている。それは子どもたちのためだけでなく、保護者の状況をふまえてのことでもある。

・D グループ：

心を育てるために「あいさつ」は大切である。学校ではできるが、地域の人にはできない児童がいる。保護者や地域であいさつが行き交う状況にできればよいと思う。また、人は支え合い協力し合っていることを学校の教育活動に取り入れてほしい。

運動会など、子どもたちの生き生きとした活動が見られた。学校が下準備をいろいろ行ってくれていることが分かった。子どもの心を育てる教育をこれからも進めてほしい。

・E 委員：縦割りの活動を増やすとよいのではないか。小さい学年の児童にとって大きい学年の児童はあこがれになる。

・F 委員：他区で登校班でなく、一人で登校している児童がいると聞いた。PTA の加入に関係しているようだ。それがいじめにつながってしまうのが心配である。

・G 委員：PTA 会員・非会員に関係なく、児童のために活動していきたい。

上記意見を受け『心を育てる』ために、「あいさつ」「ふれ合い」「感謝」を中心に具体的に取り組む。

・家の中で「いってらっしゃい」「ありがとう」などのあいさつを行っていく。

・異学年の交流を積極的に進める。

・地域とのふれ合いとして、昔の遊びなどの学習活動でふれ合いができるとうい。「昔の遊び」の学習支援を地域に依頼する。

(2) 児童会からの発表 (児童会児童2名より)

・城南小のいじめ撲滅のための取り組みの報告

・「ストップ いじめサミット」の参加報告

(3) 本校のいじめ事案について対応等の報告 (生徒指導主任より)

5 事務連絡

・避難所運営訓練への児童の参加について

・城南小学校45周年行事について

6 次回開催予定

[日時] 令和8年2月13日(金) 10:00~11:30 [場所] 図書室